

お知らせ

税金はくらしを支える大きな柱

関東信越国税局が募集した「中学生の税に関する標語」で、種芋原中学校二年生の小川博之君(二夫さん方)が作った標語(みだし)が、関東信越国税局長賞に選ばれました。

十一月十九日種芋原中学校で、長岡税務署長より賞状の伝達が行われました。



十二月九日(日)は
参議院新潟県選出議員
補欠選挙の投票日です

参議院新潟県選出議員の補欠選挙が、十一月二十一日に告示され、十二月九日に投票が行われます。棄権せずに投票してください。

不在者投票は、十二月八日(土)まで毎日朝八時三十分から夕方五時までです。場所は役場一階の選挙事務室です。

※この選挙に関しては、不明の点や詳しいことについては、選挙管理委員会にお問い合わせください。

国土調査事業の
成果図などの
確認閲覧実施

平成元年春以来、関係各位の協力により行われて来ました地籍調査の土地成果の地籍図や地籍簿が、正しく表示されているかどうか照合・確認するための閲覧が次の通り行われます。

○地図及び簿冊の名称
山古志村大字種芋原字十二平地内の一部で、地図は元年十一月測量簿冊は元年八月三十一日現在の状況により調査作成したもの。

○閲覧期間
平成二年十一月二十八日から十二月十七日までの間

○場所
山古志村役場建設課

なお、閲覧の結果、誤り等があると認められた場合には、閲覧期間内に訂正の申し出をすることが出来ます。

※土地所有者等には、個々に通知いたしますのでご協力ください。

農道舗装の申込みは
12月下旬までに

昭和五十五年度から実施されてきた、村単補助事業のほ場整備(田の切り直し)は、平成二年度をもって終了いたします。来年度からは、農道舗装に限り補助事業を継続します。

補助率は、五十パーセントに増額されますが、選定基準は従来通りです。

三年度に事業を希望される方は、十二月二十八日までに、建設課へお申し込みください。

※不明の点などは、建設課にお問い合わせください。

「農業所得の申告
方法が変わります」

例年納税相談時に聞き取りで行

っていた、農業所得の申告が、本年からは皆さんから「農業所得等申告書」により、所定事項を記入のうえ提出していただくようになります。

なお、申告していただく項目は、作付面積、飼育頭数、農機具など九項目となっております。記載例によって記入のうえ、指定期日までに提出ください。

また、農業所得の確定後は、各自に通知いたします。

※不明の点などは役場税務課にお問い合わせください。

来春(平成三年)の
保育申込受付

来春(平成三年四月から)の保育所入所希望児童の申し込みを受け付けます。希望者はお申し込み

■対象者は、家庭で保育する両親や祖父母等が、就労・病気などにより保育できず、入所を希望する人です。

○受付期間
十二月一日～十五日

○申込先
役場(住民課) ☎59-2330

○出張受付
種芋原保育所 十日(月)

虫亀保育所 十一日(火)

竹沢保育所 十二日(水)

各保育所とも午前九時～十二時
※申し込みには、印鑑と保険証を持参してください。

好評
四季の山古志
カレンダー発売



山古志写真コンテストの入選作を入れたカレンダーを五〇〇部作成し、有料で頒布することにしました。

カラー印刷、値段は昨年と同じ二部一、五〇〇円です。ご希望の方は早めに役場産業課に申し込んでください。

(☎59-2330)



秋晴のなか大盛況
産のなが大盛況
つり

人口の動き
(2.10.31現在)

■人口 2,987人(-5) 男 1,503・女 1,484 ■世帯数 809(±0)
■10月中のうごき □出生0 □死亡1 □転入2 □転出6

ふるさと創生事業 小池一彦さん

国外研修で韓国に

ふるさと創生事業（山古志村人づくり事業）の国外研修の助成を受けた小池一彦さんは、十月十七日から二十四日にかけて、新潟県民生部主催の青年リーダー養成海外研修で韓国を訪れました。

帰国後の二十九日に村長室を訪れて、ホームステイ体験や若者との交流状況などを村長に報告されました。

貴重な体験をされた小池さんから体験記を寄稿していただきましたので紹介します。

韓国七泊八日の研修、まだ一カ月しかたっていないのに、とても遠いできごとのように感じられる。

この研修では、いろいろ初体験することがあって、毎日不安と緊張の連続であった。

十月十七日、新潟会館に県下各市町村より選出された十三名の団員を集め壮行会が開かれた。韓国という未知の国に行くにあたり嬉しさ半分、不安が半分といった心境の中で事前研修で幾度となく顔を合わせてきた仲間と再会すると、これから始まる研修の話題でなご



▲ 釜山駅で

やかなムードとなり緊張が和らいだ。

壮行会を終え、空路ソウルへ向けて出発、ソウル到着後国内線に乗り換え釜山へと向かった。初日は移動のみで一日が過ぎていった。

翌日、釜山市内、龍頭山公園、学生科学センターを見学し、コモドホテルにて、釜山国立大学日本語科の学生との交流会。学生と食事しながらのおしゃべり、ゲーム、ダンス等は大変な盛り上がりとなり、終始なごやかに交流会が行われた。その後交流会で意気投合し、釜山大学生四人、私たち四人の計八人で二次会へ行くことになり、釜山でも有名なチャガルチ市場へと繰り出した。「釜山



▲ ホームステイ宅で

市の誇り一〇」の中に加えられている活気あふれる水産物総合市場で、市場の両側に所狭しと立ち並ぶ店や屋台は、韓国の生き生きとした臨場感を感じさせられた。

次の日、釜山市内観光をした後釜山ソウル間四四四、五キロを四時間十分で走る韓国の国鉄の誇る超特急セマウル号でソウルへと向かう。釜山発十四時のソウル行きに乗り込み、徐々にスピードを上げて走るセマウル号の車窓には、やがてのどかな田園風景が映し出されてくる。

ソウルでは、勤労青少年福祉センター韓国青少年体育連絡協議会を表敬訪問。

そして今回の研修でメインと言



▲ 北朝鮮との休戦ライン

える、一泊二日のホームステイが始まる。私がお世話になったのは、貞熙女子商業学校の校長（日本の教頭先生）である馬大福さんのお宅である。ホストファミリーとの対面でお互い、通訳を通しての自己紹介、ここまでは良かったのだが、その後は私の片言の英語でしか言葉が通じない。馬大福さんの車と、電車を乗り継いで連れて行かれたのが結婚式場、あとで聞いてみたのだが、馬大福さんの勤める貞熙女子商業学校の先生の結婚式であった。韓国に来てまで結婚式に出席できるとは全く想像をしていなかった。突然の出来事とはいえ貴重な体験に感激した。

次に、馬大福さんの勤める貞熙

女子商業学校を訪問。高校を卒業して以来の教務室に少し緊張はしたものの、日本語を教えているという李美恵先生の通訳で、今までの片言の英語による会話から、まともな会話へと変わり、色々話をする事ができた。

馬大福さんの家はソウル市街より車で二十分の住宅街にあった。家族は奥さんと子供三人の五人家族、そしてお手伝いさんがいた。夕食には近所に住んでいるという馬大福さんのお兄さんを招いてのぎやかな食事となった。

韓国人の主食は日本と同じく白米で炊いたご飯である。そして韓国独特の漬物物として有名なキムチは、独特の漬物物であり、ピリツとトウガラシの利いた辛い味に食べ慣れない私は、最初は少し抵抗があったものの、慣れるとそのサッパリした口当たりと特長のある風味のよさに、病み付きになるようでした。

翌日は馬大福さんの案内でソウル市内の教会の見学、日本統括からの独立宣言文を朗読し、独立万歳を叫んだ「三・一独立運動」の発祥の場であるパゴダ公園、国立中央博物館韓国初代大統領の生家と、非常に沢山の場所へ連れて行ってもらった。

一泊二日という短い間ではあったが、馬大福一家には大変気持ち

ち良く私に接してくれ、すばらしい韓国の思い出をプレゼントされ言葉では感謝の気持ちを表せない思いである。

研修の最後、ソウルの北、五十

六キロメートルの距離に一九五三年七月二十七日、韓国戦争休戦協定が調印された板門店がある。韓半島を横切る休戦ラインの中、南北の窓口となる唯一の場所、板門店は韓国、アメリカ、北朝鮮の兵士の監視下であり、緊張感が漂う見学となった。簡単には一般の人が立ち入ることのできない場所を見学できたことは、今回の研修でも忘れることのできない貴重な体験となった。

今回の研修に参加して、見知らぬ土地で、見知らぬ人と言葉交わす、そのすばらしさ。

韓国の学生との交流会等で、自分自身の生き方に対する疑問が生じ、現実を真剣に見つめながら、新たな自分自身の生き方について考えていかなければいけないのではないかと思ってきた。いずれにしろ今回の研修が私の人生の中で忘れる事のできない貴重な体験となったことはまちがいない事である。

最後にこのすばらしい研修を提供して下さったみなさんに感謝を申し上げ、韓国研修の記録とします。

やかなムードとなり緊張が和らいだ。

壮行会を終え、空路ソウルへ向けて出発、ソウル到着後国内線に乗り換え釜山へと向かった。初日は移動のみで一日が過ぎていった。

翌日、釜山市内、龍頭山公園、学生科学センターを見学し、コモドホテルにて、釜山国立大学日本語科の学生との交流会。学生と食事しながらのおしゃべり、ゲーム、ダンス等は大変な盛り上がりとなり、終始なごやかに交流会が行われた。その後交流会で意気投合し、釜山大学生四人、私たち四人の計八人で二次会へ行くことになり、釜山でも有名なチャガルチ市場へと繰り出した。「釜山

村の功労者表彰 ますますのご活躍を

十一月三日村の表彰式が役場で行われました。この表彰は村のほう賞条例によるもので、村の発展や住民福祉のために尽くされ村民の模範と認められる人や、村行政の発展に積極的に協力された人に対し、長年の功労に報いるために行われるものです。

今年受賞された方々は次のとおりです。これからの益々のご活躍を期待いたします。（敬称略）

〔農業委員会委員永年勤続表彰〕
樺沢 忠春（種芋原）
（山古志村農業委員として十五年以上在職し、村勢の発展に尽くされた）

〔産業振興永年勤続表彰〕
星野一三（長岡市）
（山古志村農業協同組合職員として二十五年以上在職し、産業振興に尽くされた）

〔勤労の奨励永年表彰〕
藤井虎雄（東竹沢）
坂牧善雄（種芋原）
（新聞配達員として二十年以上精励し、勤労精神の高揚に尽くされた）

〔消防団員永年勤続表彰〕
星野武雄（竹沢）
松井靖博（東竹沢）

受賞された樺沢さんは「最近、農業をとりまく諸問題はきびしく、国内はもちろん、国際的に大きく揺れ動いている今日、直接私も農家にかかわる事柄が沢山あります。心を新たに光栄ある表彰の意義に恥じないように微力ではありませんが、精一杯地域社会に貢献し、村の発展のため努めていきたいと……」と話されました。

川上正春（東竹沢）
五十嵐仁郎（東竹沢）
（消防団員として二十年以上在職し、消防防災に尽くされた）

〔役場職員永年勤続〕
小川清一（東竹沢）
（山古志村職員として二十五年以上在職し、村行政の発展に尽くされた）



▲ 謝辞を述べる樺沢さん

農林水産大臣賞に 五十嵐千人さん

去る十月二十七日・二十八日に小千谷市で開かれた第三十回全国農業祭参加の新潟県錦鯉品評会で五十嵐千人さんの紅白が、見事農林水産大臣賞（総合優勝）の栄誉に輝きました。

この鯉は体長七十九センチの雌、九歳で、井貫県水産課長さんは「品質、緋盤ともに申し分なく、特に九歳でありながら、若鯉のような体形が決めてに……」との審査講評でした。

入賞者は次のとおりです。（敬称略）

◎農林水産大臣賞
五十嵐千人（虫亀） 十部紅白

■優勝一席
山古志漁協 一部五色
星野要一（竹沢）三部ダイヤ紅白
五十嵐千人（虫亀） 九部白写り
田中重雄（虫亀） 十部アイ衣

■優勝二席
星野重行（竹沢） 一部菊水
五十嵐千人（虫亀） 十部大正三色

■優勝三席
松田松夫（虫亀） 二部金銀鱗
齊藤勝（虫亀） 四部昭和三色
五十嵐敏勝（虫亀） 九部昭和三色

■準優勝
畔上完二（南平） 一部紅白
星野俊行（竹沢） 一部紅白
関幸作（東竹沢） 一部白写り
星野勇（竹沢） 二部紅白
星野要一（竹沢） 二部昭和三色
五十嵐竹志（虫亀） 四部紅白
関幸作（東竹沢） 四部白写り
松田松夫（虫亀） 四部孔雀黄金
五十嵐正作（虫亀） 六部紅白
山松養鯉場（虫亀） 七部紅白
佐藤元一（虫亀） 七部大正三色
星野秀雄（竹沢） 九部大正三色



▲農林水産大臣賞の紅白



▲農林水産大臣賞の五十嵐千人

快晴 — 大にぎわい 産業まつり



▲ 農産物の表彰式



▲ 山いも、長いもなどの即売



▲ 子どもたちに人気の金魚すくい



▲ なわなないレース

十一月三日(文化の日)に役場前で行われた第十四回山古志村産業まつり。心配された天候も朝から晴れあがり、絶好のまつり日和のなかでにぎやかに開催されました。

開会を前に会場はおおぜいの人九時三十分の開会宣言に続き、火花が打ち上げられ、役場構内の駐車場はすでに満パイ。県道の片側も臨時の駐車場に早替りしました。即売品の主流はやはり農産物、野菜類、山いも、レンコンなどが次々に売れてゆきます。

子供たちには、無料のクジと風船。そしてわたあめと金魚すくい。民芸品も実用向きの正月用のしめなわなどの飾り物が好評。まつりの華は、なんとといってもバザーコーナー、商工会婦人部の山菜そばにもつ煮、子供たちの大人気のラーメンなどは超多忙。これに負けずと青年部や各生産組合自慢の即売品も大人気でした。そして、伝統文化の公開。人間製縄機(なわなない)大奮闘レースには、五人一組の八チームが参加し白熱した好レースを展開した結果、優勝は10分間で20・8歳の竹沢地区老人クラブでした。村民会館では、第七回村民文化展が開かれました。入口ではまず菊花展、喫茶室。

▲ 農産物品評会 金賞受賞者

▲ 村民文化展

▲ 四季の写真コンテスト応募写真

青空のもと 村錦鯉品評会

十月二十五日(木)、素晴らしい晴天に恵まれたなか、第二十九回目を迎えた「山古志村総合錦鯉品評会」が山古志村役場前で開かれました。

昨年より四十点多い三百八十七点が出品され、七品種・八部門で錦鯉の美を競い合いました。今年、村の錦鯉を総括するこの品評会にアメリカのカリフォルニア、テキサス州の愛好者もバス一台で訪れて、産地山古志の錦鯉を堪能されていました。

審査員十三人が審査の結果、総合優勝は新太郎養鯉場さん(虫亀)の紅白が選ばれ、この紅白と優秀つけがたいということで優勝次席に五十嵐千さん(虫亀)の紅白が選ばれました。その後審査員は班ごとに分かれ各部の審査を行い、逸品揃いのため苦労しながらも優勝、準優勝を選び出しています。表彰式終了後、一部から四部までの入賞鯉が競売されました。品評会に入賞した「お墨付き」の優秀鯉ということもあって、威勢のいいせりの掛け声が響いていました。

品評会の成績は次のとおりです。(敬称略)

- 〔総合優勝〕 紅白 新太郎養鯉場(虫亀)
- 〔総合優勝次席〕 紅白 五十嵐千(虫亀)
- 〔一部最優秀賞〕 紅白 佐藤幸男(竹沢)
- 〔二部最優秀賞〕 紅白 五十嵐徳治(虫亀)
- 〔三部最優秀賞〕 紅白 松田松夫(虫亀)
- 〔四部最優秀賞〕 紅白 五十嵐千(虫亀)
- 〔ジャンボの部最優秀賞〕 大正三色 高達養鯉場(竹沢)
- 〔最多出品賞〕 星野武正 松田松夫 星野重行
- ◎各部門品別優勝
- 〔紅白〕
 - 一部 松田松夫 二部 長島元三
 - 三部 長島元三郎 四部 五十嵐千
 - 五部 五十嵐洋子 六部 田中重雄
 - 七部 新太郎養鯉場
- 〔大正三色〕
 - 一部 坂牧雅良 二部 山松養鯉場
 - 三部 関悌二 四部 星野秀雄
 - 五部 坂牧雅良 六部 星野武雄
 - 七部 五十嵐千
- 〔昭和・写り物〕
 - 一部 増田吉久 二部 星野要一
 - 三部 関幸作 四部 五十嵐幸作
 - 五部 関勇 六部 長島弘七
 - 七部 田中重雄
- 〔光り物〕
 - 一部 渡辺一治 二部 関勇
 - 三部 星野武正 四部 五十嵐千
 - 五部 五十嵐藤一 六部 五十嵐高繁
 - 七部 関勇
- 〔金・銀鱗〕
 - 一部 星野要一 二部 星野要一
 - 三部 星野要一 四部 関悌二
 - 五部 石原貞作 七部 田中重雄
- 〔五色・アイ衣〕
 - 一部 五十嵐高繁 二部 田中良宗
 - 三部 樺沢和利 四部 佐藤五郎次
 - 五部 五十嵐藤一 六部 星野重行
 - 七部 田中重雄

十月十九日から三十一日まで、第十回混成バレーボール大会が、山古志中学校体育館で開かれました。それぞれ苦心のチーム編成のなか八チームが参加。九人制で女性が三人以上加わります。実力は各チームとも伯仲してありました。この大会の主旨「交流と健康づくり」のとおり、終始なごやかな雰囲気の中で試合が行われた結果、優勝は二年連続で、花よめ花むこ募集中、二位は、わかつてす、三位は、虫亀チーム。

果、優勝は二年連続で、花よめ花むこ募集中、二位は、わかつてす、三位は、虫亀チーム。

ド合奏、そしてたるばやしの雄大な演奏など、各校の個性あふれる合唱や演奏で、あつというまに二時間が過ぎ第一部が終了しました。第二部は、新潟大学教育学部附属長岡小学校合唱部三十八名による合唱、重唱などの十曲が披露され、合唱部のみなさんの美しいハーモニーに耳を傾けていました。

▲ 優勝チームのみなさん

▲ 虫亀小学校のみなさん

混成バレーボール 花よめ花むこ募集中 チーム連続優勝

それぞれ苦心のチーム編成のなか八チームが参加。九人制で女性が三人以上加わります。実力は各チームとも伯仲してありました。この大会の主旨「交流と健康づくり」のとおり、終始なごやかな雰囲気の中で試合が行われた結果、優勝は二年連続で、花よめ花むこ募集中、二位は、わかつてす、三位は、虫亀チーム。

心を一つに 小・中学校音楽交歓会

第二十八回目となる、山古志村小・中学校音楽交歓会が、十月三十一日に山古志中学校体育館で開かれました。

村内小・中学校の児童生徒が集まり、合唱・器楽演奏などこの交歓会に向けて、一生懸命に練習した成果を発表しました。全員合唱をはじめ一六年生が一緒に頑張った学校、金管の透き通った音色、リコーダ演奏、リコー



▲ 優勝チームのみなさん



▲ 虫亀小学校のみなさん

笑顔がいつばいの リハビリ指導会



▲ ゲーム前に準備運動

十一月八日に村民会館で軽度の身障者を対象とした、リハビリ指導会が、長岡保健所村内のボランテニアなど関係者の協力で開かれました。

この指導会は、日ごろ家庭にとじこもりがちな身障者の方から参加してもらい、仲間同志の語りあいの場と、リハビリの指導を行うなど、運動不足の解消と心身のリフレッシュに役立つと行われたものです。

当日は、午前十時から参加者十人の健康チェック(血圧測定など)

献血にご協力 ありがとうございました



11月14日の一般献血で、次の94人からご協力いただきました。(敬称略)

○印は400cc採血者

種芋原

- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| ○川上清吉 | 小川藤雄 | ○樺沢久孝 | ○樺沢恵子 |
| 長谷川美恵子 | 小川キヨエ | ○樺沢 孝 | 佐藤 誠 |
| 樺沢博文 | 今井雅広 | 湯本久美子 | 坂牧久美子 |
| 小川靖子 | 小川洋子 | 川上理恵子 | 小川和美 |
| 坂牧麻利江 | 小川明美 | 須佐真由美 | 樺沢三治郎 |
| 坂牧和人 | 坂牧満晴 | 佐藤勝義 | 樺沢美知夫 |
| 金内英樹 | 小川 仁 | 海野見和子 | 下條かおり |
| 坂牧忠雄 | 樺沢勝男 | 小川 清 | 坂牧あき子 |
| 須佐タツ子 | | | |

虫 亀

- | | | | |
|-------|-------|-------|------|
| ○佐藤丈平 | 五十嵐洋子 | 西原たき子 | 石原秀明 |
| 石原啓司 | 峰村和美 | | |

竹 沢

- | | | | |
|-------|------|-------|-------|
| ○星野 力 | 小池順子 | 星野フジエ | 高野千恵子 |
| ○小川勝行 | 佐藤誠一 | 高橋純治 | 星野茂夫 |
| 星野秀雄 | 高野福康 | 星野良二 | 星野伸次 |
| 関 稔 | | | |

南 平

- | | | | |
|-------|-------|------|------|
| 青木美枝子 | ○斉藤末松 | 畔上伸治 | 斉藤和子 |
| 畔上日丸 | 青木 充 | | |

東竹沢

- | | | | |
|------|------|-------|-------|
| 上田治久 | 小川隆行 | 小川喜太郎 | 五十嵐与吉 |
| 関 幸作 | | | |

村 外

- | | | | |
|-------|-------|-------|------|
| ○影山勝弘 | 小林梅野 | 石原十八 | 築井勝三 |
| 友野京子 | ○星野武男 | 小川美佐子 | 佐藤真澄 |
| 坂牧玲子 | 関 耕司 | ○小船井浩 | 渡辺耀一 |
| 高野不死鳥 | 星野純子 | 菊入裕子 | 西片 望 |
| 河野義広 | 菊入一昭 | 諸橋三郎 | 丸山 實 |
| 渕川貴幸 | 西山秀明 | 大塚正人 | 今泉大洋 |
| 野上智也 | 穂苺博文 | 渡辺吉章 | 田中光春 |
| 山内義雄 | 渡辺広二 | 岩崎保宣 | |

11月19日の成分献血で次の15人からご協力いただきました。(敬称略)

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 関 幸雄 | 草間頼雄 | 小林修治 | 高橋武俊 |
| 米岡祐三 | 本田伸子 | 内藤規子 | 酒井省吾 |
| 酒井一郎 | 草間綾子 | 川上敏郎 | 五十嵐博 |
| 菊入 淳 | 坂牧広志 | 坂牧良一 | |

農高山古志分校で 避難訓練



▲ 消火器を使っでの訓練

行ったのち開会。自己紹介につづき、簡単な体操後、和気合々のなか歌やゲームなどを楽しみながら進んでいきます。ボランテニアの皆さんの手作りの昼食を食べ、午後一時からは、診療所の佐藤先生が一人一人に体のぐあいなどを聞きながら、それぞれにアドバイスが行われていました。

参加者のみなさんは、日ごろ外に出る機会も少く、この会が行われたことを非常に喜ばれていました。

また、今回の指導会は十二月下旬に予定されています。

ダンスパーティー ステップ軽やかに

十一月十八日夜、村民会館ホールで、村ダンスクラブの主催でダンスパーティーが開かれ、五十人あまりが参加しました。

当日は、長岡・小千谷・小国などのクラブの人も参加し、生演奏のバンドに合わせて、練習の成果を発揮し、軽やかにステップを踏みながら、一曲ごとに積極的 पार्टナーを見つけ、和気あいのなかダンスを楽しんでいました。

今年の四月からダンスを始めた、



四季の山古志
写真コンテスト
片桐恒平さんに村長賞
今年で三回目となった「四季の

広井美代子さん(小栗山)は、「リズムに乗ってさつそうと、ステップを踏む上級者達、私もあんなふうには踊れたらなんて、悔しさと希望で夢がふくらむ毎日、一週間がととても待ち遠しく感じます。

今回のパーティーに田崎先生夫妻の優雅な踊りは、パーティーをいっそう盛りあげ、そのすばらしさに心を打たれて感激したのは決して私一人ではなかったでしょう。

ますます、ダンスが好きになりました。と感想を述べていました。



▲ 片桐さん、村長

山古志写真コンテスト」の入賞者が決まりました。応募は県内外のアマチュアカメラマンから風景、闘牛などの力作百五十二点の応募がありました。

村長、写真家の羽賀康夫さん(日本写真家協会)らが審査の結果、村長賞は片桐恒平さんに決まりました。また、十一月三日には、村長室で受賞式が行われ片桐さんに記念品などが贈られました。

入賞者は次の通りです。(敬称略)

(山古志村長賞)
「冬晴れのスキー場」片桐恒平(長岡市)
「毎日クランプリ賞」
「火祭り」五十嵐敏彦(長岡市)
「知事賞」
「嫁ぐ日」甲田晴章(長岡市)
「県観光協会賞」
「勝利の帰還」仙沢計美(新発田市)

ぶな林など保護指定の 調査が行なわれました

広報やまこし七月号で、ふるさと創生資金の一部で美しい自然環境をまもり、うるおいと安らぎのなかで、ふるさとを愛する心がはぐくまれることをねがい、六月議会で、「ぶな等樹林保護育成基金条例」が、できたことお知らせしました。

その後、ぶな等樹林保護育成運営委員会が、第二回委員会の十一月十九日に現地調査が行われ

ました。雨と霧のなかでしたので調査は一部残っていますが、今後じゅうぶん検討し、指定にあたっては、所有者の皆さんからの承諾とこれからのご協力をいただきながら順次指定。春、雪消えにむけて指定標識をつけさせていただきます。

山古志村の自然保護と育成について一層のご協力をお願いします。

12月の

納.税.保険料

- ★固定資産税
- ★国民健康保険料
- ★国民年金保険料
- ★保育料

福祉

編集・発行

社会福祉法人
山古志村社会福祉協議会
〒947-02
古志郡山古志村大字竹沢乙461
山古志村役場内
☎(0258) 59-2332
印刷 大川印刷株式会社

社会福祉協議会を

ご理解いただくために

類をみないスピードで進んでいる高齢化社会の到来や、住民意識の変化に伴い、福祉に対する住民の必要性はますます多様化し、かつ複雑化している中で、社会福祉の傾向は在宅福祉志向が一層強まってきました。

これを推進していくために、住民相互の連帯意識を高め、自助・互助の精神を養っていくことが重要な課題となっています。

社会福祉協議会は、地域住民が主体となって地域社会における社会福祉の問題を解決して、その改善向上をはかるため、公私関係者の参加協力を得て、組織的活動を行うことを目的とする民間の自主的な組織です。そこでは次の事業を行っています。

- 給食サービス事業
- 要援護世帯除害対策事業
- 友愛訪問活動
- ボランティアの発掘・育成
- 心配ごと相談所の設置運営
- 共同募金活動の実施
- 民生委員活動への協力・助成
- 福祉団体活動の推進
- 日赤社員の増強運動の推進
- 社協会員の加入促進

また、社会福祉協議会が会費のお願いや、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の年間3回、皆様にご協力をお願いしていますが、これらは全て事業費として充てられ、人件費、委託事業費は村の補助金によって賄われています。

ボランティア

(登録)募集!

広げよう 小さな愛
社会のために、人のためにつくしたい、役立ちたい。この気持ち、本来人間だれでもが持っている心だといわれています。ボランティア活動は自分の意思にもとずく自主性を持った活動であり、どんな小さな活動でも、広く社会全体の福祉を高められるような公共性を持ったもので、自分の能力と時間を提供し、報酬を求めない無償性なのです。

現在、ボランティアに登録されている方が4名、ボランティアグループ(善意銀行運営委員)で活動してくださっている方がこの他に11名いらっしゃいます。
ひとり暮らし老人の給食サービス事業や、村のリハビリ教室での障害者のお世話、ボランティア研修等が今の主な活動です。

歳末たすけあい募金にご協力を

募金目標額は 600,000円

(一世帯の募金 目安額は500円)

12月1日から歳末たすけあい募金が始まりました。
この募金は、村内で援助を必要としている人たちや、長い間家族と離れ病院や施設にいる人々を励まし、地域で支えあうことを目的としています。

山古志村に住む人すべてが、お互いに支えあい、明るいお正月を迎えられるよう、皆さんのあたたかいご協力をお願いいたします。



ボランティアの活動は、たくさんあります。小学生、中学生、高校生のあなた、20代の若者たち、お父さんにお母さん、そしておじいちゃん、おばあちゃん、誰もが参加できます。皆さんのあたたかい愛を少しわけて下さいませんか。登録希望の問い合わせ先

山古志村社会福祉協議会

ボランティア活動の内容

- 労力奉仕
清掃・洗濯・買い物・食事サービス・おしめや雑巾づくり・介護者の手助け・その他
- 慰問奉仕
在宅ねたきり老人、ひとり暮らし老人、障害者等への訪問・話し相手・施設への慰問・その他
- 技能奉仕
大工・左官・板金・電気配管・運転・美容・理容・マッサージ等

※登録された方は、無理のない範囲で無償で活動に参加していただきます。



収集ボランティア受け付けてます

ロータスクーポン
ロータスクーポンは、商品の箱や袋、キャップシールなどについています。まわりを少し残して切りとって下さい。

古切手
使用済切手のまわり5ミリ位の紙をつけたまま切りとって下さい。アルミ缶・アルミ栓
缶はつぶして集めて下さい。スチール缶とまちがわれないようにお願いします。

社協会費納入

ありがとうございます
平成2年度会費納入につきましては、村民の皆さまのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

法人となって2年目、着実に事業を進めていくには、まだまだ力不足の事務局ではありますが、皆さまの善意を無駄にせぬよう、気をひきしめて臨みたいと思います。また、会費納入にご協力下さいました各区長さんに対し、深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

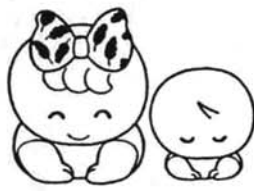
『村の福祉』発行のお知らせ。

寄附金 20,145円

長岡農業高校山古志分校生徒会

去る11月21日、長岡農業高校山古志分校生徒会代表者が庁舎を訪れ「村の福祉」に役立てて下さい」と、20,145円を寄附されました。

このお金は、文化祭でバザー等を行った際の収益金だそうです。村社会福祉協議会では、この御好意に感謝し、有効に使用させていただきます。



善意の寄附に感謝

前号でお願いしました収集ボランティアの協力、早くも届けられています。

山古志通信製作所(虫亀)では、婦人職員を中心に、皆さん大変がんばって下さい。

村社協が呼びかける前から始めていたそうで、すでに多くのアルミ栓が届けられました。また、牛乳パックが再生利用されるからと、集まったパックを持ってこられました。大変うれしく思います。ありがとうございました。

ボランティアの心

もてるものが
もたないものではない
しあわせなもの
ふしあわせなものではない
もてるものも、もたないものも
しあわせなもの
ふしあわせなもの
ともに考え、ともに学び
ともに生きることなのだ
(高島 巖著)

「愛おのずから起きる時」
より)